

2025 年度

明海大学大学院

応用言語学研究科

博士前期課程 B 日程

専門科目試験問題

注 意 事 項

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
- 2 応用言語学に関する小論文は全員が解答してください。
- 3 日本語に関する専門知識・英語に関する専門知識・中国語に関する専門知識は、1 題を選択して解答してください。

2025 年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1/1

日 程	研 究 科	区分	試験科目
B 日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	応用言語学に関する小論文

問題 1. 次の問いに答えなさい。(この問題については必ず答えること。)

あなたが本大学院（応用言語学研究科）において、取り組もうとしている研究分野についての内容を詳しく述べてください。(またその研究分野における代表的なことがらやそれに関連する研究の内容、そしてその動向なども含め、具体的な例を挙げて述べてください。)

問題 2. (1)から(8)まで1問を選択し、解答しなさい。

- (1) 文法における格 (Case) の概念について、その役割と多様性を、具体的な言語の例を挙げながら論じなさい。
- (2) 「アコモデーション理論」について例を挙げ、説明しなさい。
- (3) 多言語社会のなかで、「勢力拡大の言語」と「勢力後退の言語」の位置づけは、どのような要因が引き起こすものか、具体的な例を挙げて述べなさい。
- (4) モダリティ (modality) について述べなさい。
- (5) ノーベル文学賞を受賞した中国人作家の作品について、例を挙げて述べなさい。
- (6) CEFR とは何か、その理念と内容について説明し、外国語教育において CEFR をどのように応用できるかを論じなさい。
- (7) 調音における口蓋帆の役割はなにか。任意の言語から具体的な例を適宜あげながら説明しなさい。
- (8) コミュニケーションにおける語彙選択の重要性について述べなさい。